

富山高等専門学校		開講年度	令和05年度 (2023年度)		授業科目	総合国語Ⅱ A
科目基礎情報						
科目番号	0022		科目区分	一般 / 選択		
授業形態	授業		単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	電気制御システム工学科		対象学年	2		
開設期	前期		週時間数	2		
教科書/教材	論理国語（筑摩書房）／精選文学国語（明治書院）／精選古典探究（大修館書店）／新総合図説国語（東京書籍）／常用漢字ダブルクリア四訂版・別冊徹底トレーニングノート総合タイプ（尚文出版）					
担当教員	足立 蘭子					
到達目標						
1. 古典を含むさまざまな文章中に出現する語句について、その語意を説明することができ、さらに自分でその語句を実際に使用することができる。 2. 古典を含むさまざまな文章の主旨を説明することができ、それを適切な言語を用いて文章として表現することができる。						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
古典を含むさまざまな文章中に出現する語句の語意を説明することができ、自分で実際にその語句を使用することができる。	文章中の語句を用いて、自分の考えを文章として、表現することができる。		文章中の語句の語意を説明することができ、自分で実際に使用することができる。		文章中の語句を説明することができず、自分で使用することができない。	
古典を含むさまざまな文章の主旨を、説明することができ、それを適切な言語を用いて文章として表現することができる。	文章の主旨についての自分の考えを、適切な言語を用いて文章化することができる。		文章の主旨を説明することができ、それを適切な言語を用いて文章化することができる。		文章の主旨を説明することができず、それを適切な言語を用いて文章化することができない。	
学科の到達目標項目との関係						
ディプロマポリシー DP1 ディプロマポリシー DP4						
教育方法等						
概要	1. 漢字・語意・文法など、言語的な知識を身につけ、古典を含むさまざまな文章を読み、論理構成に即して、主旨を理解できるようにする。 2. 読んだ文章を通して、さまざまな問題について、自身の意見や考えを持ち、適切な言語を用いて文章として表現できるようにする。					
授業の進め方・方法	担当教員による単独講義および演習による授業。 授業前に、担当教員の作成した学習プリントや授業プリントを配布し、これを予習課題とする。					
注意点	他者の書いた文章を正確に読むことや自分で苦労して文章を書くことを通じて、自らの感じ方や考え方を磨いてゆくのだという意識を持って取り組んでほしい。なお、授業計画は、学生の理解度に応じて変更する場合がある。本科目では、50点以上の評価で単位を認定する。評価割合の通り、試験（中間試験と期末試験の平均）の評価を主として、提出物などを加えて評価する。評価が50点に満たない者は、願い出により追認試験を受けることができる。追認試験の結果、単位の修得が認められた者にとっては、その評価を50点とする。					
授業の属性・履修上の区分						
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☒ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業
授業計画						
		週	授業内容	週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	ガイダンス 春休み漢字課題テスト・長田弘「アイオワの玉葱」①	授業に必要な教材や具体的な学習方法について、説明できる。／春休み課題に基づいた漢字テストで、80/100点以上取得できる。／本文の漢字を正しく読み、語句の意味を説明できる。筆者が母語以外の言葉と出会うことによって初めて気づいた「ことば」の性質とは、どのようなものか、説明できる。		
		2週	長田弘「アイオワの玉葱」②	「母語」の「限界」とはどういうことか、説明できる。「言葉のもつ本質的な力」とは何か、説明できる。「言葉は、他者への想像力によって、言葉なのだ。」とはどのようなことか、説明できる。		
		3週	更科功「100パーセントは正しくない科学」①	本文の漢字を正しく読み、語句の意味を説明できる。「科学的推論」の2つの種類「演繹・推測」の違いを説明できる。「逆・裏・対偶」について説明できる。		
		4週	更科功「100パーセントは正しくない科学」②	「科学」が「推測」を使うのはなぜか、「科学の典型的な手順」とはどういうものか、説明できる。		
		5週	連休課題漢字テスト・更科功「100パーセントは正しくない科学」③	連休課題に基づいた漢字テストで、80/100点以上取得できる。「科学」が「100パーセントの正しさ」を「保証できない」とは、どういうことか、説明できる。		
		6週	『十訓抄』「大江山いくのの道」①	歴史的仮名遣いの本文を正しく音読できる。文章中の古文単語の意味を説明できる。登場人物の所在地・人物同士の関係について、説明できる。		
		7週	『十訓抄』「大江山いくのの道」②	定頼の発言、これに応答する小式部内侍の和歌、それぞれの意図について、説明できる。「大江山」の和歌に用いられている修辞について、説明できる。		
		8週	故事成語「画竜点睛」・「漱石枕流」・「塞翁が馬」	それぞれの故事成語がどのような話をもとに成立したのか、説明できる。		
	2ndQ	9週	前期中間試験	第1～8回の授業の内容について確認する試験で、50/100点以上を取得できる。		
		10週	答案返却・中島敦「山月記」①	中間試験の返却された答案を確認し、自分で間違えたところについて解説を聞いた上で、訂正することができる。／本文の漢字を正しく読める。		

		11週	課題漢字テスト／中島敦「山月記」②	課題に基づいた漢字テストで、80/100点以上取得できる。／本文の語句について意味を説明できる。李徴の半生と人物像を整理して、説明できる。なぜ李徴が虎に変身したのか、彼自身がその理由として考えていることについて、整理して説明できる。
		12週	中島敦「山月記」③	詩に対する李徴の執着・取り組み姿勢がどのようなものであったか、哀惨の視点を参考にすることによって、整理して説明できる。
		13週	中島敦「山月記」④	李徴の変身を通じて、運命・才能と努力・近代人の自意識といった諸々の問題について、自分なりの考えを持ち、それを説明できる。
		14週	清少納言『枕草子』「中納言参りたまひて」①	本文を正しく読める。古文単語の意味を説明できる。登場人物の関係を理解し、それを踏まえて使用されている敬語について、種類や現代語訳・敬意の方向を説明できる。
		15週	清少納言『枕草子』「中納言参りたまひて」②	助動詞や係り結びの働きについて、説明できる。清少納言の返答の面白さについて、説明できる。
		16週	答案返却	期末試験の返却された答案を確認し、自分で間違えたところについて解説を聞いた上で、訂正することができる。

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	国語	国語	論理的な文章(論説や評論)の構成や展開を的確にとらえ、要約できる。	3 前2,前3,前4,前9,前10
				論理的な文章(論説や評論)に表された考えに対して、その論拠の妥当性の判断を踏まえて自分の意見を述べることができる。	3 前2,前3,前4,前9,前10
				文学的な文章(小説や随筆)に描かれた人物やものの見方を表現に即して読み取り、自分の意見を述べることができる。	3 前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15
				常用漢字の音訓を正しく使える。主な常用漢字が書ける。	3 前1,前2,前3,前4,前5,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14
				類義語・対義語を思考や表現に活用できる。	3 前1,前2,前3,前4,前5,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15
				社会生活で使われている故事成語・慣用句の意味や内容を説明できる。	3 前1,前2,前3,前4,前5,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15
				専門の分野に関する用語を思考や表現に活用できる。	3 前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15
				実用的な文章(手紙・メール)を、相手や目的に応じた体裁や語句を用いて作成できる。	3 前16
				報告・論文の目的に応じて、印刷物、インターネットから適切な情報を収集できる。	3 前16
				収集した情報を分析し、目的に応じて整理できる。	3 前16
				報告・論文を、整理した情報を基にして、主張が効果的に伝わるように論理の構成や展開を工夫し、作成することができる。	3 前16
				作成した報告・論文の内容および自分の思いや考えを、的確に口頭発表することができる。	3 前16
				課題に応じ、根拠に基づいて議論できる。	3 前4
				相手の立場や考えを尊重しつつ、議論を通して集団としての思いや考えをまとめることができる。	3 前4
分野横断的能力	汎用的技能	汎用的技能	汎用的技能	日本語と特定の外国語の文章を読み、その内容を把握できる。	3
				他者とコミュニケーションをとるために日本語や特定の外国語で正しい文章を記述できる。	3
				他者が話す日本語や特定の外国語の内容を把握できる。	3
				日本語や特定の外国語で、会話の目標を理解して会話を成立させることができる。	3
				円滑なコミュニケーションのために図表を用意できる。	3

				円滑なコミュニケーションのための態度をとることができる(相づち、繰り返し、ボディランゲージなど)。	3	
評価割合						
		試験	課題テスト	提出物	合計	
総合評価割合		70	15	15	100	
基礎的能力		40	10	10	60	
専門的能力		20	5	5	30	
分野横断的能力		10	0	0	10	